

安全・安心のまちづくり部会



課題の選定

(背景)

・防災・防犯に対する区民の関心の高さ

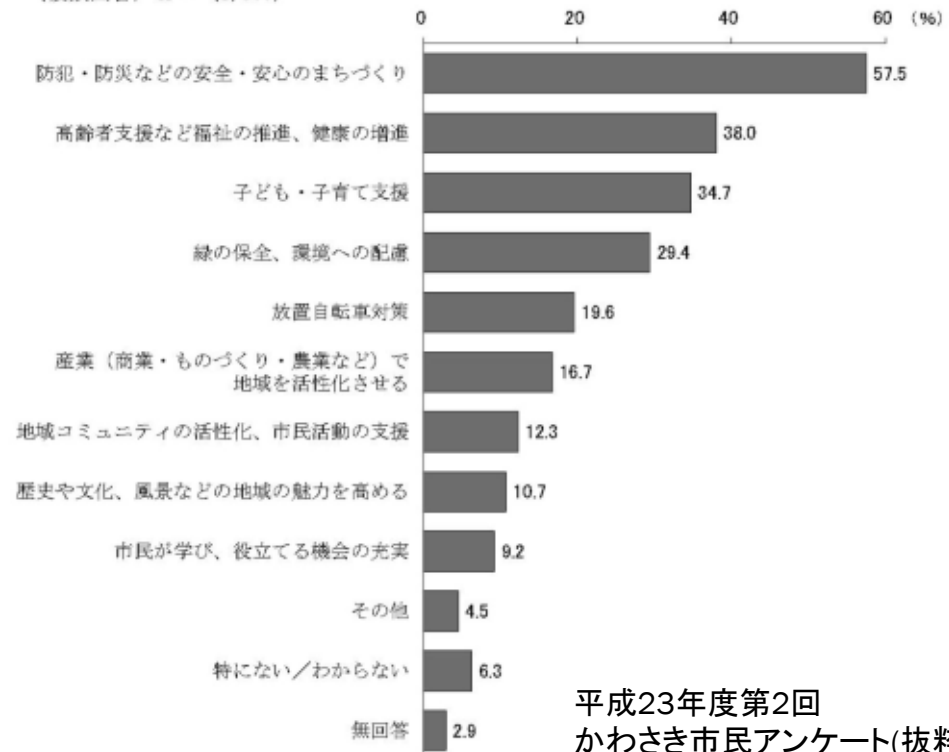
5-3 区民会議で取り上げてほしい地域の課題

◎「防犯・防災などの安全・安心のまちづくり」が57.5%

問13 区民会議で、どのような地域の課題を取り上げてほしいですか。(〇は3つまで)

図表5-6 区民会議で取り上げてほしい地域の課題

(複数回答) n = (1,500)



平成23年度第2回
かわさき市民アンケート(抜粋)

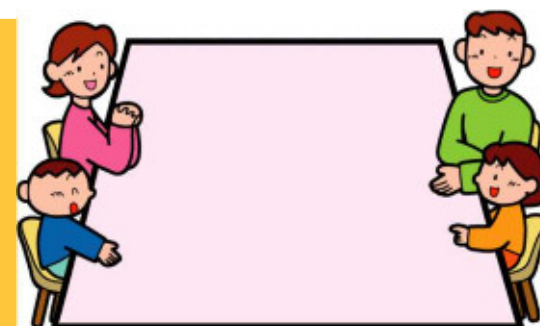
審議テーマの設定

大規模地震に対する防災対策として

- ・自助・共助による助かる命を守ることが重要。
- ・「防災」のうち、**事前対策**と**緊急対策**に重点を置いて調査・審議を行う。



テーマ「大地震から助かる命を守る」



前提とする地震の想定

- 最大震度:6弱
- 発生時間:冬・平日・18時
- 人的被害:麻生区内の死者43人
(火災26人、建物倒壊12人、家具転倒ほか5人)

人的被害

区名	建物倒壊				急傾斜地崩壊		屋外落下物	
	死者 (人)	入院者 (人)	負傷者(人)		死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
			重傷	軽傷				
麻生区	12	21	41	529	2	48	0	2

家具転倒		ブロック塀		火災		合計	
死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
1	18	2	78	26	432	43	1,148

川崎市地震被害想定調査報告書(平成25年3月)から抜粋

具体策検討シートを作成

自助・共助・公助・
企業市民ごとに、
対策を洗い出し、
体系的に整理



この中から
区民会議が
取り組むべき
優先テーマを選定

【「大地震から助かる命を守る」ための具体策検討シート(整理後)】(事前対策)

資料1-1

事前対策	※は実施中の対策			企業市民の協力
	自助	共助	公助	
1 地震に強い家づくり				
(1) 家屋の倒壊防止	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断と補強工事の実施(昭和56年以前建築の家屋について) →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど 	<ul style="list-style-type: none"> 家屋の耐震補強の必要性に関する近隣での認識の共有 取り組み促進に向けた町内会、自主防災組織としての活動 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の資料を寄贈 耐震工事費用助成 耐震診断推進計画(目標: H27年度末90%以上一泊型で達成見込み) 耐震性が不十分な家屋の会長組織とその解消に向けた対策の実施(方法は要検討) 	<ul style="list-style-type: none"> 建築士の協力 工務店、建設会社等の協力 研究者、専門家の協力
(2) 家具の転倒防止	<ul style="list-style-type: none"> 家具、電化製品の固定・転倒防止・移動防止 造り付け家具の活用 家具、電化製品の置き場所の見直し 窓、食器棚等のガラス飛散防止 →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど 	<ul style="list-style-type: none"> 家具等の固定・転倒防止策の必要性に関する近隣での認識の共有 取り組み促進に向けた町内会、自主防災組織としての活動(区によるキャンペーンへの呼応、町内会単位での出前講座の開催など) 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のみ宅等への家具転倒防止用具の無料配布や費用 町内会単位で実施した家具・電化製品の固定・転倒防止策の徹底(方法は要検討(区民会でのキャンペーンの実施、区民向けのセミナー(町内会単位での出前講座の開催など)) 	<ul style="list-style-type: none"> 建築士、大工、専門の職人の協力 ホームセンター等の協力 研究者、専門家の協力
(3) 火災予防	<ul style="list-style-type: none"> 火災報知器の取り付け 消火器等の備えつけ 火気近くの物の片づけ →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど 	<ul style="list-style-type: none"> 火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有 消防団の体制強化、活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有 消防団の体制強化、活性化 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ブロック塀の転倒防止対策 メールニュース(ASMなど)の受贈取付 防災訓練の徹底(聞こえる声) エレベーター類に込め時対策を徹底 避難ベットの有効性の検証 	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター類に込め時対策を徹底 自主防災組織、避難所運営会議 	<ul style="list-style-type: none"> メールニュース(ASM)の受贈取付 防災行政無線等を平時から活用(啓発のために使用) 市民の認知と緊急時の確実な使用のために エレベーター類に込め時対策を防災訓練で実施 公共施設の取組強化 防災マニュアルの整備(保育園等) 	<ul style="list-style-type: none"> 近区企業等(特に重複を避けた施設会社)、商業者(食料店等の関係)、学校(避難先)、病院(避難者の収容、治療)、農協等の協力 一防災ネットワーク協議会(仮称)を立ち上げ予定

拡大

優先テーマ

3つの最優先テーマ

死者数を0にすることを目標に、区民による主体的な取り組みにつなげる

1 家屋の倒壊防止



- ・耐震補強が必要な家屋の把握とその解消
- ・耐震診断・耐震補強工事の実施の促進など

2 家具の転倒防止



- ・家具・電化製品の固定化の促進、置き場所の見直しなど

3 火災予防 ・火事発生への対応



- ・火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有
- ・町会・自治会、マンション等での消火器の設置・共用など

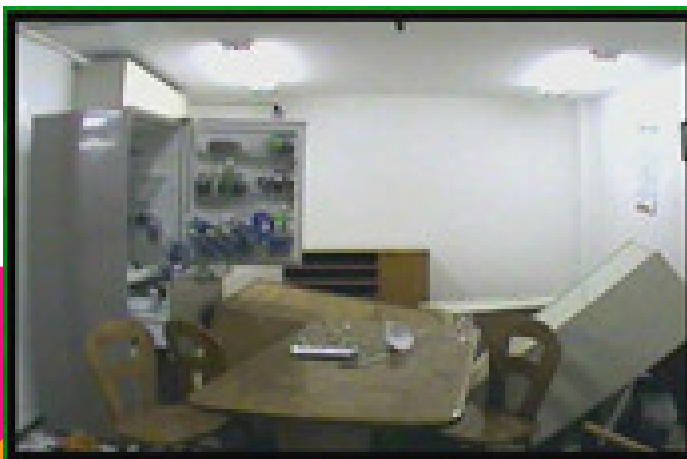
2つの優先テーマ

- 4 災害時要援護者等への対応
- 5 負傷者、生き埋め者の救助（一刻も早い救助、手当、安全な場所への収容など）



モデル事業の実施へ

- 区民意識の向上や防災対策の促進・啓発につなげるため、最優先テーマを踏まえた**モデル事業の実施**へ。
- 地震発生の瞬間に命を守るために区民がすぐできる対策として「**家具の転倒防止**」に重点。



固定しない



固定する

モデル事業の概要

(その1)

- ◆戸建て系及びマンション系の家屋を各10戸程度選定します。
- ◆実際に**家具の転倒防止**のため、固定工事や移動を行います。
- ◆併せて、「**家屋の倒壊防止**」「**火災予防・火事発生への対応**」の観点から、実施すべき対策を提案します。
- ◆明治大学建築学科(園田眞理子教授)、建築技術者の協力によって実施します。



モデル事業の概要

(その2)

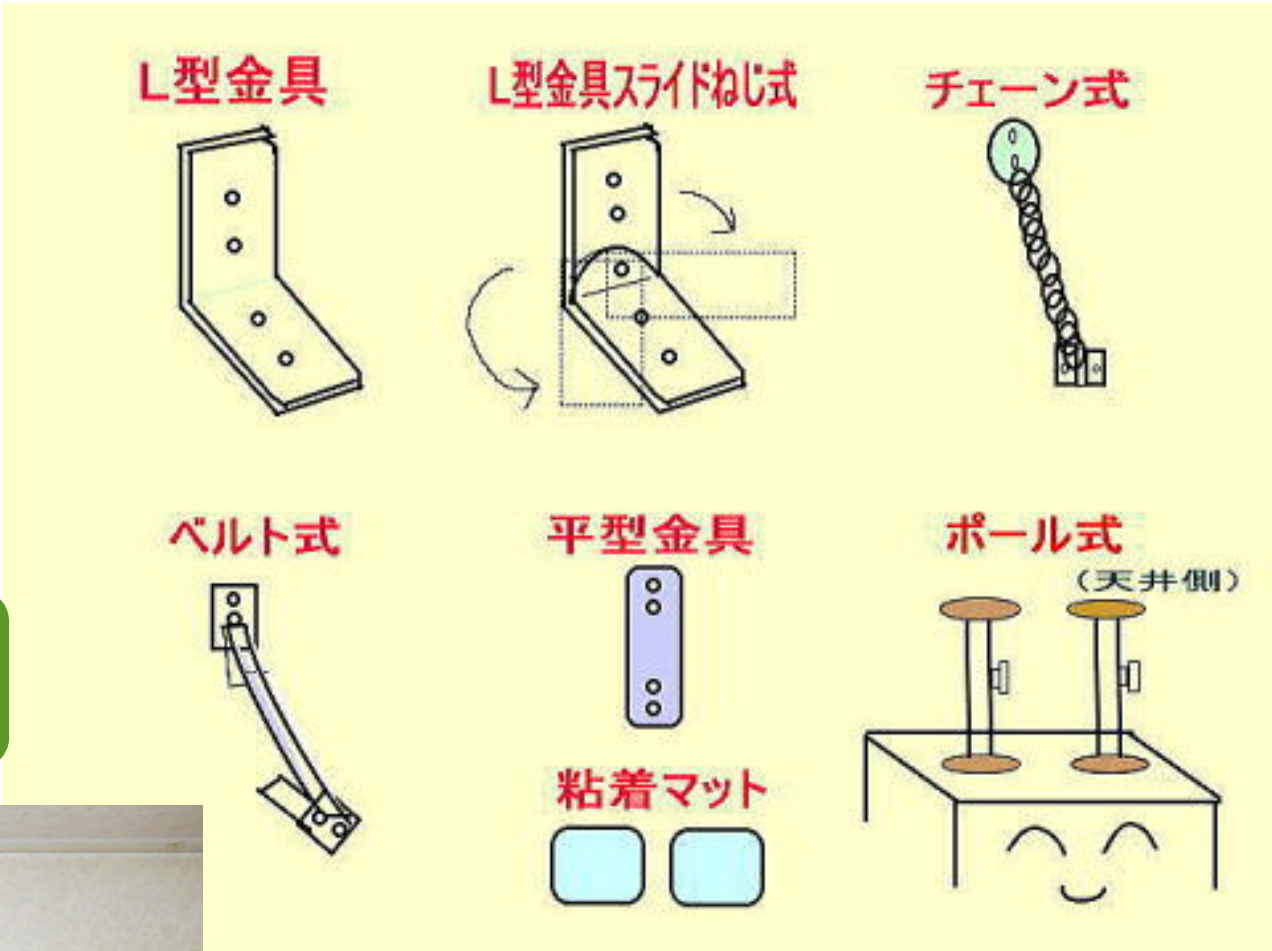
- ◆事前にお宅にお邪魔し、家屋の構造や家具等の状況を調査し、最適な転倒防止対策を検討します。
- ◆居住者の方には、意向を伺い、納得の上で、プロの建築技術者が対策工事を実施します。
- ◆対象家屋の居住者の方には、アンケートやヒアリング、写真撮影等にご協力いただきます。
- ◆費用負担はありません。





家具固定には
様々な方法、道具
があります。
最適なものを選ぶ
ことがコツ。

市販の既製品でなく
ても工夫次第で。

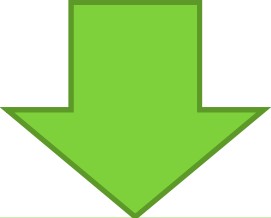


冷蔵庫も
固定が必要。

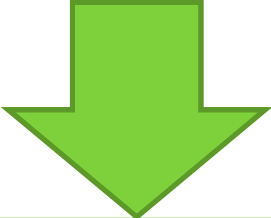


モデル事業の募集・決定

- ◆対象:区内の戸建て系及びマンション系の住戸グループ
- ◆期限:平成25年8月19日(月)
- ◆募集方法:地域メディア等による広報など
- ◆応募数:マンション系1グループ
- ◆第12回安全・安心のまちづくり部会(8月21日開催)で選考



マンション系の
実施グループ決定



戸建て系は、1件からでも
申込みできることに条件を
変更し、再募集受付中
(9月30日まで最大10件)

モデル事業の実施

先行実施するマンション系スケジュール(予定)

- 協力世帯向け事前説明会・・・9月
- 各戸事前調査・・・9月
- 家具転倒防止工事・・・10~11月
- 実施後のアンケート・・・11月~12月

※戸建て系については、
各協力家庭のご都合をお聞きしながら、
スケジュールを決めていきます

今後の展開

◆モデル事業の経験を踏まえ、家具の転倒防止や、家屋における地震安全対策のあり方・進め方を考えます。

◆モデル事業の成果を、区民の皆様に広くお知らせします。



地震安全対策の施策の充実と、
区民の主体的な取り組みへ